

令和3年12月8日

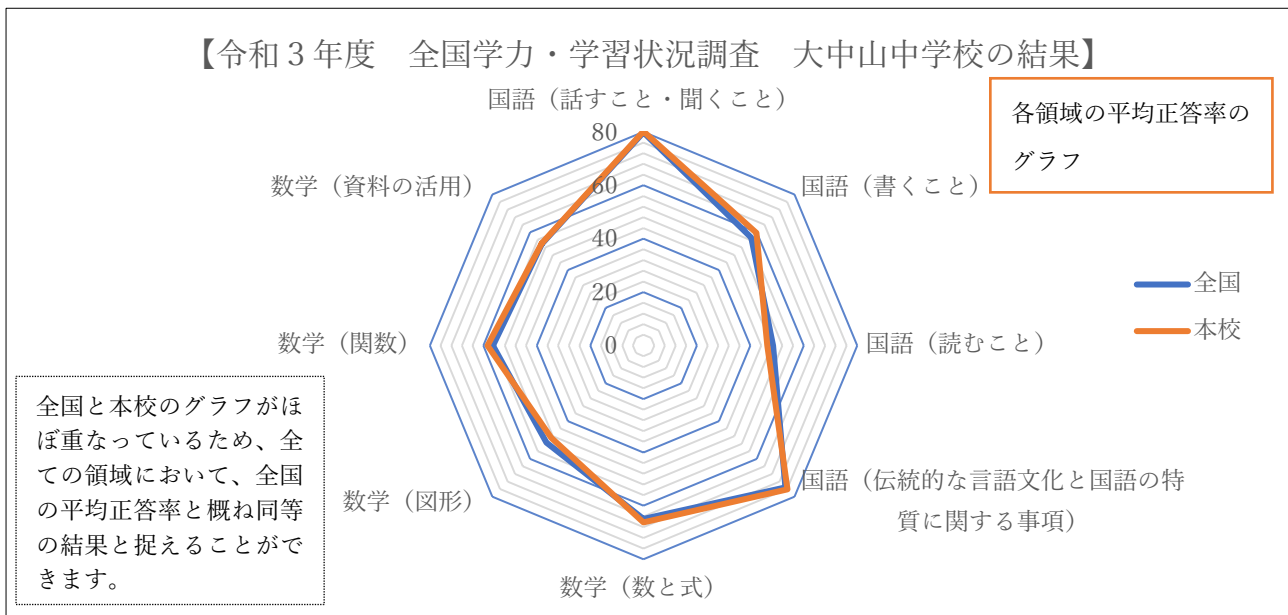
保護者の皆様

七飯町立大中山中学校  
校長 中埜渡 信 裕

### 令和3年度 全国学力・学習状況調査結果について

今年度の全国学力・学習状況調査（4月実施、中学校3年生対象）について過日、北海道の結果・状況が発表されました。大中山中学校では結果の分析と今後の取組についてまとめましたので、その一部をお知らせいたします。

本校では今回の結果を踏まえ、生徒一人一人に確かな学力を育むために、効果的な取組については継続し、課題とされる部分については授業等の工夫や改善をより一層すすめて参ります。ご家庭におかれましても家庭学習習慣の確立、生活習慣の改善についてご理解とご支援を宜しくお願いいたします。



#### 国語

(課題) 「読むこと」領域に関して、長い文章を読んで主旨を読み取ることを不得手とする傾向が見られます。問題形式では、記述式、とくに「文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ」等の問題において無回答が目立ちました。課題に対して自分の考えをもち、言葉で表現することが苦手であることが推測されます。

#### (課題を踏まえた改善点)

- ・ 文学的文章や説明的文章においては、単元計画を見直し、読み取りの時間を増やして定着を図ります。
- ・ 言葉や文章全体を映像化・視覚化させる課題設定を工夫します。
- ・ 条件付き（何文字以内で、〇〇という言葉を使って等）で作文をさせる練習・工夫をします。

#### 数学

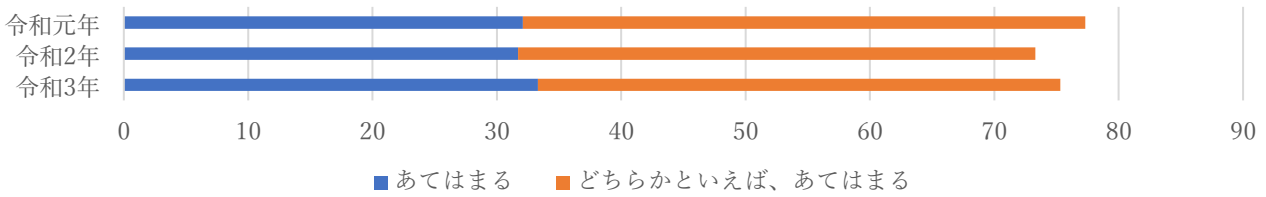
(課題) 「図形」「資料の活用」領域に関して課題が見られました。「理由を数学的な表現を用いて説明する」記述式問題については無回答率が高かったことから、データや問題文から一定の性質を見だし根拠等を説明することが苦手なこと、また長い問題文を読む段階で何を問われているかを理解できていない生徒が多かったことが予想されます。

#### (課題を踏まえた改善点)

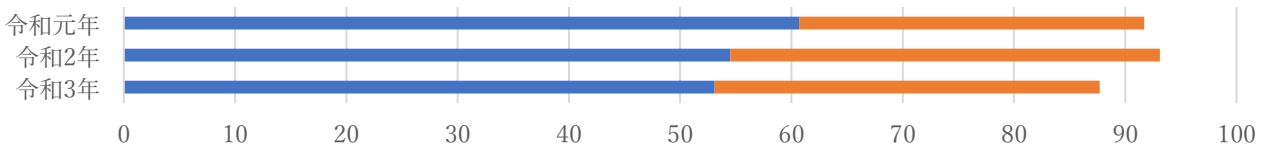
- ・ まずは基礎的な計算等のスキル学習を継続・定着させます。
- ・ 記述式問題や文章問題等に触れる機会を増やし、課題解決に向けた自分なりの表現方法で説明するような場面をつくります。

生徒質問紙から

1, 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。

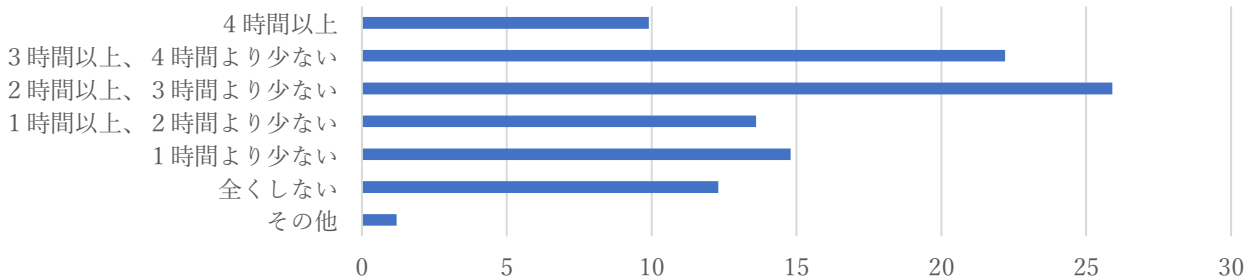


2, 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。

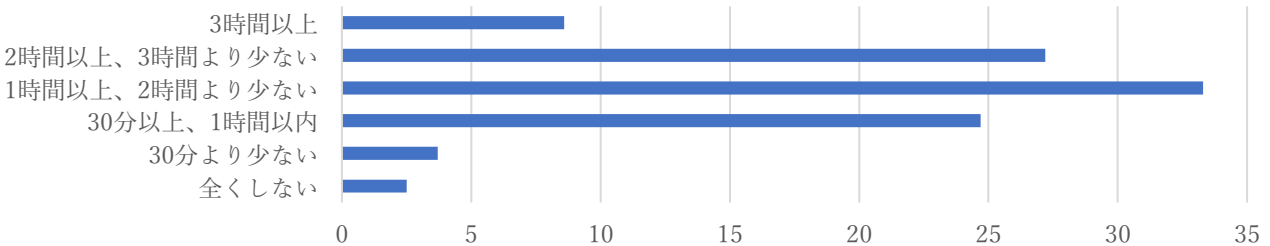


ご家庭のご協力により、大多数の生徒が定時に寝起きをしていることが分かります。一方で不規則な就寝・起床の生徒が15～10%ほどおります。規則正しい生活は健康的に生活・学習する基盤となります。集中して意欲的に学習に臨むためにも、「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣づくりをさらに促す指導や取組を充実させることが大切と考えます。

3, 1日にPCゲーム、スマホゲーム、携帯型ゲーム、テレビゲームをする時間

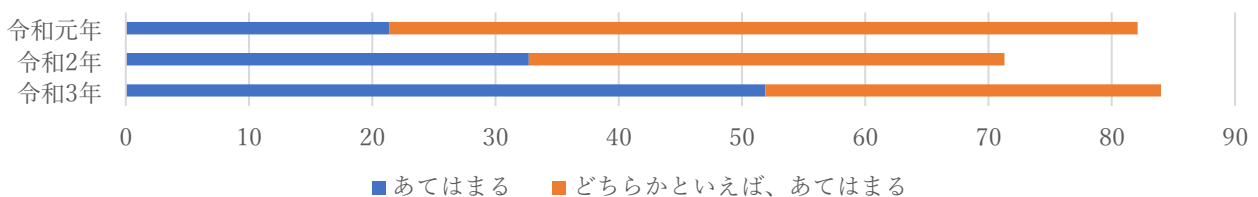


4, 1日にどのくらいの時間勉強をしますか（塾や家庭教師を含む）。



1日にゲームを3時間以上する生徒が30%以上いることが分かりました。これは渡島全体の中でも高い数値と言えます。逆の言い方をすれば、その分家庭学習の時間が短くなっているということが言えます。道教委からは「ゲームをする時間が短い生徒ほど、国語・数学の正答率が高い」という集計結果も示されています。またゲームのしすぎは寝不足や体調不良の原因となりますので、次の日の学習のためにも、節度ある使用を心掛ける必要があります。

5, 自分にはよいところがあると思いますか。



引き続き自己受容・自己肯定感を高める声かけや他を認める気持ちの醸成、子供達の前向きな気持ちを引き出すような言葉掛けに努めます。

